



町田通信

春のご挨拶

「金融教育の歴史」

for Executives



「郵便貯金の日(5月2日、郵政省(現日本郵政)制定)」や「貯蓄の日(10月17日、日本銀行制定)」の例をあげるまでもなく、日本人の貯金・貯蓄好きは広く知られるところです。

今日、日本の家計金融資産に占める「現金と預金」の比率が諸外国に比べて高いのはご存知の通りですが、1875年(明治8年)に英国など先進国の制度に倣い郵便貯金の業務が始まった当初は、日本人の貯蓄の心は貧弱で所謂「宵越しの銭は持たず」その日暮らしの生活習慣・価値観のもと郵便貯金は伸び悩んだと伝わります。

家計部門の貯蓄の重要性を認識した日本政府は、貯蓄が子どもや高齢者を養うために役に立つ等、貯蓄の効用を説き、加えて僅かな現金したもたない子どもでも無理なく貯金ができるようにと切手貯金を導入しました。

さらに、貯蓄習慣の教育が小学校で取り入れられるなどして、やがて若い世代を中心に節約と貯金の習慣が広がっていきました。



「小中高にお金の授業」

近年、小中高校で所謂「お金の」授業が取り入れられつつあります。高校では学習指導要領の改定により、2022年度から金融教育が始まりました。

「平成30年改訂学習指導要領」には「家計管理」「生涯

を見通した生活における経済の管理や計画、リスク管理の考え方」「社会保障制度」「ライフステージごとの課題」などが盛り込まれています。

「子どもの前ではお金の話はせずのびのび育てる」とお考えの方のなかには戸惑う声もあるようですが、これも時代の要請なのかもしれません。

「宵越しの銭は持たない」から「節約と貯蓄」へと人々の習慣と価値観が変化定着するのに2~30年を要したと伝わります。「貯蓄から投資へ」といわれはじめて久しいですが、子どもたちをはじめ若い世代を中心に資産作りの光景はやがて様変わりしていくのかもしれません。

「使い方は生き方」

このように日本は貯蓄から投資へと舵取りをしている真ただ中ではありますが、お金の使い方や資産作り、リスク対策などのあり様は、その方の生き方や価値観そのもの、二つは表裏一体を成すものです。

人が生き方をいきなり変えることができないように、これまで長く安定志向でうまくやってきた方が「皆がそうしている」「流行だから」と肌に馴染まない積極投資に全面的に切り替えるのが難しい理由のひとつがここにあります。

貯蓄志向、安定志向、リスク対策重視、積極投資、今を大切にす、将来に希望を託す等々、お一人お一人の生き方に合った方法をご一緒に考えて参りましょう。



ソニー生命保険株式会社 新宿ライフプランナーセンターエグゼクティブ支社

エグゼクティブ ライフプランナー 町田 信行

住所変更などはありませんか。近況の変化やご要望、ご質問などございましたら私(裏面)までご連絡ください。
また、私がお役に立てそうな方がいらっしゃいましたらぜひご紹介賜りますようよろしくお願いいたします。

「人口 100 人で見た日本」

昨年、日本を100人の国にたとえた最新の数字(厚生労働省 業務ガイド2022『付録 日本の1日&人口100人で見た日本』)が公表されました。そのなかから興味深い数字をいくつか拾ってご紹介してみたいと思います。

「女性と男性」

日本を100人の国だとすると女性は51.4人、男性は48.6人でした。よく見るとこの比率は、昨年の米国中間選挙結果(上院で民主党51議席、共和党49議席)と似ていますね。

学生数は、小学生が5.0人、中学生2.6人、高校生2.5人、大学生・大学院生2.3人となっています。中高生の合計5.1人に対して小学生5.0人、ここにも日本の少子化の傾向が表れているのでしょうか。

「雇用と医療」

100人中仕事についているのは53.1人(内自営4.2人)で、会社の健康診断で「有所見」(何らかの異常の所見が認められた)は26.1人(働く方の約半数)とは少し驚きですね。

医療面を見てみると、病気やけがなどで通院しているのは40.4人、生涯でがんになるのは男性が31.9人、女性が25.8人となっています。一方、その現状を「日本の1日」(日本で1日に起こる出来事の数)で見ると、入院しているのは約131万人となっています。概ね100人に1人だと考えると、入院がより身近なものに思えてきます。

一方、通院しているのは約719万人で、国民全体の医療費は約1,189億円でした。医療費を1人当たりになると約940円で、これを年額に換算すると34万円強になります。皆さま備えは万全ですか。

「ライフステージ」

1日当たりの出生人数は2,297人、一方、お亡くなりになる方は3,750人、差し引き人口の減少数は1,453人となっています。また、ご結婚するのは1日当たり1,436組でした。因みに1日は1,440分です。1分当たり…!

ライフステージが大きく変わるときの不安をお金の面からサポートするのも私たちの使命のひとつですので、この数字を見ると身が引き締まる思いになります。

「歩数と歯磨き」

1日の成人の平均歩数は、男性が6,793歩、女性が5,832歩だそうです。女性の社会進出が今後一層進むと、もしかしたらこの差は縮まったり逆転したりするのかもしれないですね。

皆さま歯磨きは1日何回なさっていらっしゃいますか。朝晩2回という方もいれば、夜寝る前に1回だけという方、昼食後も入れて3回という方もいらっしゃると思います。成人に限定した数字ですが「日本の1日」では、1日に2回以上磨く方が77.0%だということです。



こんな時にご連絡ください

適切なサービスや情報を提供し、皆さまをお守りするために、次のようなときは私にご連絡ください。

●各種手続きや保障内容の見直しなどの相談や問い合わせ

- 契約内容・保障内容の確認・見直し
- 老後資金や相続に関する相談
- 医療費や介護費用の心配
- 保険金や給付金の請求について
- 入退院や手術の予定
- 災害や事故などに遭遇されたとき

- 身近な方のご結婚・ご出産・入進学
- 転居・転職・起業の予定
- 事業拡大や事業承継の計画(法人様)
- 福利厚生制度・役員の保障の相談(法人様)
- 紹介して欲しい人・提供して欲しい情報がある

●その他

疑問や不安に感じていること、近況なども気軽にお聞かせいただければ幸いです。また、私がお役に立てそうな方がいらっしゃいましたらぜひご紹介ください。

(差出人・連絡先)

ソニー生命保険株式会社

新宿ライフプランナーセンターエグゼクティブ支社

エグゼクティブ ライフプランナー

町田 信行

掲載内容等に関するお問い合わせは私まで。

〒151-0053

渋谷区代々木 2-1-5

JR 南新宿ビル 18F

TEL: 03-5358-1700 FAX: 03-5358-1850

携帯: 090-3681-3416

メール: NOBUYUKI_MACHIDA@sonylife.co.jp

